



でん太の 教えてドクター

その②4 「入れ歯を入れる」ということは…



お話／足立優歯科診療所 足立 優 院長

ゲスト いつもでん太がお世話になつります。D.r. これはこれは。でん太のおじいさんですか、初めてして。

ゲスト いえ、わたしはでん太の曾々々祖父ですか。

でん太 これはぼくのひいひいひいひいおじいちゃん。

D.r. ひええ、すごいね。立派な髭で、何だか森の仙人みたいだね。

でん太 森のみんなに慕われている長老なんだよ。

ゲスト ところでですな、今日こちらに伺いましたのは、わたしの入れ歯のこととでご相談したいことがあります。

D.r. ほう、入れ歯。

ゲスト まつたく、森の長老が聞いて呆れますわ、入れ歯やなんて。年齢には勝てんもんですな。奥の歯からだんだん抜けてしもて、ついに数が半分になつてしまんで入れ歯にしてもうたんです。えのんを入れたんで、ごつつい高かつたんですけど、何や、具合悪うなつてきたんです。

D.r. というと、うまくもの

ゲスト いつもでん太がお世話になつります。D.r. これはこれは。でん太のおじいさんですか、初めてして。

ゲスト いえ、わたしはでん太の曾々々祖父ですか。

でん太 これはぼくのひいひいひいひいおじいちゃん。

D.r. ひええ、すごいね。立派な髭で、何だか森の仙人みたいだね。

ゲスト 森のみんなに慕われている長老なんだよ。

ゲスト ところでですな、今日こちらに伺いましたのは、わたしの入れ歯のこととでご相談したいことがあります。

D.r. ほう、入れ歯。

ゲスト まつたく、森の長老が聞いて呆れますわ、入れ歯やなんて。年齢には勝てんもんですな。奥の歯からだんだん抜けてしもて、ついに数が半分になつてしまんで入れ歯にしてもうたんです。えのんを入れたんで、ごつつい高かつたんですけど、何や、具合悪うなつてきたんです。

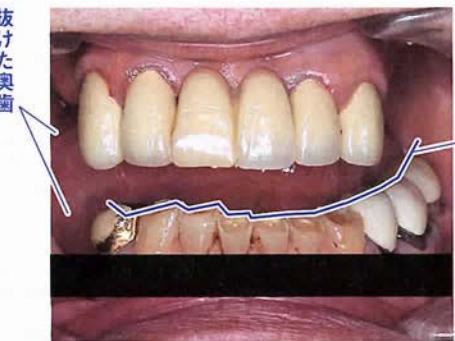
D.r. というと、うまくもの

ゲスト うん、なるほど。おじいさん、いや長老。まずはその考え方を改めないといけませんね。入れ歯を入れる、といふことは、歯のない場所に歯を入れるということではあります。

でん太 ええ? ドクター、どういうこと。

D.r. 入れ歯を入れるという

ことは、口の中全体をきれいに整えるということです。歯はもともと歯ぐきから生えてるもの、そこに歯がなくなつたからといって入れ歯を入れるだけでは、自分の歯と入れ歯の、噛む力を支える能力がちがうので、バランスが悪くなるんです。自分の歯と入れ歯の歯並びや、噛む力の分担といったバランスを整える歯の歯並びが不均一で、このままではうまくかめません



入れるときは、歯がなくなつた部分に歯を入れるだけではなくて、他の歯も一緒に整えて、お口の中全体の歯並びや噛む力を、バランス良く整えることを、先生と一緒に考えてほしいですね。D.r.これを機会に、入れ歯あわたしも改めて、口の中全部を見てもらいましょうか。D.r. るために「N.P.O.法人・明日の歯科医療を創る会 P.O.S」を設立し、社会に対して歯科医療情報の公開と、よりよい歯科医療を求める患者の支援を行なっている。

入れ歯を

すりへった歯ならびが不均一で、このままではうまくかめません

入れ歯を入れるとともに歯のならびをきれいに整えました

入れ歯を整える



足立 優歯科診療所

神戸市東灘区岡本1・3・33
TEL 078-411-0024 FAX 078-411-0056
mail.adachi@kba.att.ne.jp
http://ado.pr-business.net



※これからは患者の権利を守る予防歯科医療が主流となります。情報をお知りになりたい方は、Dr.足立までお問い合わせ下さい。



■足立 優 (あだち まさる)

1960年生まれ。大阪歯科大学

市東灘区に足立優歯科診療所開設。

行動医学の概念を基盤とした自己

決定に基づく予防管理を中心型の歯

科医療を展開する。また、この概

念にもとづく医療システムの普及

るために「N.P.O.法人・明日の歯

科医療を創る会 P.O.S」を設立

し、社会に対して歯科医療情報の

公開と、よりよい歯科医療を求める患者の支援を行なっている。

- 明日の歯科医療を創る会
- ホームページ <http://www.asunoshika.com>
- TEL 078-435-4618



木戸充郎さん

神戸の夜景スポット・ビーナスブリッジにある老舗レスラン「トゥール・ドール」は、神戸市街地を一望しながら本格フランス料理が楽しめるお店として、家族三代にもわたるファンもいるという名店のひとつだ。

プロデュース一筋の木戸充郎さん。木戸さんに聞く、トウール・ドールのウエディングの魅力とは「やはりお料理と神戸を一望できる眺望」。「結婚式当日は新郎・新婦が、いわばホスト役になつて、出席された方々をおいしいお料理と美しい眺めでおもてなしをすること。それはお二人だけでなく、ゲストの皆さんにとても最高の思い出となるはずです」。世界で一番輝く星

ちろんOK。



人の愛の証しの鍵を取り付けるセレモニーなども提案している。宗派にこだわらず業式も可能。披露宴やパーティなどの利用もも

人の愛の証しの鍵を取り付けるセレモニーなども提案している。宗派にこだわらず拳

美しい眺望を眼下に
誓う金星(ビーナス)
ウェディング

—トゥール・ドール—

ひといん



「金星」に誓う「ビーナスウエディング」と名づけられたとか。アットホームな雰囲気と、さまざまな要望に応えられることが魅力のレストランウェディング。こだわるカップルもぜひ木戸さんに相談して、最高の一日を創りあげてほしい。またビーナスブリッジといえば「愛の鍵」で有名なデート



■トゥール・ドール

神戸市中央区諏訪山公園展望台 ☎078-241-0168
11:00～22:00 (L.O.21:00) 年中無休 <http://www.tourdor.jp>
通常/ランチコース2,100円～/ディナーコース6,930円～



中右瑛先生『夢二燎爛』出版記念 大正モダンアート 夢二・宵待草の宴

本誌「神戸ゆかりの源平浮世絵」でおなじみ、中右瑛先生の『夢二燎爛』出版を記念して、11月11日ホテルオーラ神戸神戸にて、竹久夢二をテーマとした「夢二・宵待草の宴」がおこなわれた。

会は中右先生のお話からスタート。「波瀬万丈・夢二恋人」のタイトルで、4人の魅力的な女性たちとの恋に彩られた夢二の人生がテーマ。ビデオ映像や初出展の作品を交えながらのお話は、これまで非常に興味深いものだった。

そして夢二作詞の歌「宵待草」など、懐かしい歌を芦原昌子さんが熱唱。すみれ綜合

美容の宮園貴江さんの協力による大正ロマンムード溢れる衣装で、会場を魅了。夢二の映像と澄んだ歌声のコラボレーションも見事だった。

林五和夫さんの発声による乾杯の後、お食事も趣向を凝らし、大正ロマン夢二膳と、夢二にちなんだネーミングの屋台で。ホテルオーラ神戸和食堂「山里」の加藤良一料理長が腕を振るい、長崎チャンポン、神戸牛すじコンニャク葱焼、明石の穴子箱寿司、みたらし団子…と色とりどりの屋台コーナーは大盛況。

約100人の参加者たちはしばし大正時代にタイムスリップ。ロマン溢れる時間を過ごした。また、おみやげにと中右先生から全員に『夢二ドキュメント 波瀬万丈・恋人』と『夢二燎爛』の2冊の著書をプレゼント。サインにも快く応じる姿に、中右先生の人柄が伺えた。



南米の小国・ウルグアイ。年に1本の映画も作られていない国から、カンヌ映画祭ワールドプレミア等で世界中を虜にした傑作が登場した。

ウルグアイのさびれた靴下工場。二人の兄弟と、生真面目な中年女に、少々のいんちきと策略が降りかかる…。ほとんど三人のみの登場人物が織りなすドラマは、セリフが少ないにも関わらず、それぞれの人物が次第に愛しくなってくる。人生の可笑しさ、哀しさ、そして素晴らしさをユーモラスに描いた作品。



ウルグアイ発・2004年の作品「ウイスキー」

市民映画劇場12月例会 「ウイスキー」

神戸市産業振興センター
(ハーバーランド、プロメナ神戸東隣)
12/9(金)10(土)1日4回公演
前売1,300円(当日一般1,500円)
障害者・シニア1,100円 学生1,300円
■問／神戸映画サークル協議会
☎078-331-8538
<http://www.kobe-eisa.com>



美術館の遠足9/10 藤本由紀夫× 西宮市大谷記念美術館

西宮市大谷記念美術館
(阪神香櫻園駅徒歩10分)
12/23(金祝)
11:00~21:00(入館20:00まで)
一般500円 高生300円 小中生200円
■問／西宮市大谷記念美術館
☎0798-33-0164
<http://www.nishi.or.jp/otani/>

西宮にオープンした芸術文化センターで、県立ピッコロ劇団が贈る豪華記念大作。脚本は、市川猿之助歌舞伎の脚本を数々手がけてきた気鋭の作家・石川耕士、演出は「ネオかぶき」と称して活動する人気劇団「花組芝居」を主宰し、作・演出・女形も演じる才人・加納幸和。出演者には渡辺徹を招くほか、語りには浜村淳。

待望の初顔合わせで、「仮名手本忠臣蔵」全11段を、新エンターテインメント時代劇として一挙上演に挑む。かつてないおもしろい芝居、乞うご期待。



兵庫県立ピッコロ劇団 第24回公演 「KANADEHON 忠臣蔵」

兵庫県立芸術文化センター
(阪急西宮北口駅南へ)
1/28(土)~2/3(金)
一般5,000円 中高生(3歳以上)
3,000円(全席指定)
■問／兵庫県立ピッコロ劇団
☎06-6426-8088
<http://hyogo-arts.or.jp/piccolo>



井上登紀

Special Flute Quartet フルート・カルテット 特別ライブ

クラシックライブハウス
ピア・ジュリアン
(JR三ノ宮駅・阪急三宮駅北側／
1階マクドナルドのビル9階)
12/11(日) 20:00開演
チケット2,000円(通常チケット込)
■問／ピア・ジュリアン
☎078-391-8081

ライブハウススケジュール

ジャズライブ&レストラン SONE

12/1(木) 新井雅代+トリオ
 2(金) 大越理加+トリオ
 3(土) 北莊桂子+トリオ
 4(日) ロイヤル・フラッシュ・ジャズバンド
 5(月) 石野見幸+トリオ
 6(火) 辛島寿美子+トリオ
 7(水) 猿丸詩摩子+トリオ
 8(木) 大塚善章+トリオ+宮野英子
 9(金) 北莊桂子+トリオ
 10(土) 新井雅代+トリオ
 11(日) 鍋島直紀クワルテット+大越理加
 12(月) 矢野麻衣子+トリオ
 13(火) 岩宮美和+トリオ
 14(水) 溝口恵美子+トリオ
 15(木) 古谷充クワルテット
 16(金) 辛島寿美子+トリオ
 17(土) ベティ鞍富+トリオ
 18(日) 井手厚利+トリオアナ+シーフラ
 19(月) 杉山千絵+トリオ
 20(火) キャンディー浅田+トリオ
 21(水) 大越理加+トリオ
 22(木) 長谷川元伸クワルテット+北莊桂子
 23(金) 祖田修+トリオ+新井雅代
 24(土) 石川潤二+トリオ+大越理加
 25(日) 祖田修+トリオ+北莊桂子
 26(月) ロアナ・シーフラ+トリオ
 27(火) 新井雅代+トリオ
 28(水) ジャネット+トリオ
 29(木) 北浪良佳(Yoshika)+トリオ
 30(金) 菅みなみ+トリオ
 31(土) Count Down 2006 Vocal:新井雅代、大越理加、北莊桂子、辛島寿美子 長谷川元伸(As)高岡正人(p)他



キャンディ浅田

※1/1~4休み

JAZZ LIVE & RESTAURANT SONE

北野坂 078-221-2055

<http://kobe-sono.com>

★ミュージックチャージ900円

★日曜日昼下がりのジャズライブ開催中

クラシックライブハウス ピアジュリアン

12/1(木) 好本由希子(ソプラノ) 鈴木華重子(p)
 2(金) セヤナ・プラスアンサンブル
 3(土) 溝口志保(ソプラノ) 藤江圭子(p)
 4(日) 雲井千賀(トランペット) 藤溪優子(p)
 6(火) 藤川健(テノール・チューバ) 植田浩徳(p)
 8(木) 青木耕平(バリトン) 多久江里子(p)
 9(金) 三村哲子(p)
 10(土) 雜賀美可(ソプラノ) 晴雅彦(バリトン)

藤江圭子(p)

11(日) 特別ライブ フルート・カルテット／井上登紀他(P88参照)
 12(月) 近藤美香・金澤佳代子(p)連弾
 13(火) 中島佐和(ヴァイオリ)
 14(水) 老田裕子(ソプラノ) 藤江圭子(p)
 16(金) 今井順子・岩佐明子(p)連弾
 18(日) 中島悦子(ヴィオラ) 林典子(p)
 19(月) 宮崎万里(ヴァイオリ) 植田浩徳(p)
 20(火) 高橋乗子(チェロ) 鈴木華重子(p)
 21(水) 朴俊桓(バリトン) 藤江圭子(p)
 22(木) 田原綾子(ソプラノ) 素森美穂(p)
 23(金) 佐藤和宏(クラリネット) 戸川晃子(p)
 24(土) 尾崎比佐子(ソプラノ)
 25(日) 武田有賀・山本京子(p)連弾
 26(月) 山腰まり(フルート) 鈴木華重子(p)
 28(水) 弦楽四重奏／谷本華子・井上なつき、吉田陽子・高橋乗子
 29(木) 渡辺可奈(フルート) 藤溪優子(p)
 31(土) カウントダウンコンサート

※1/1~4休(予定)

■クラシックライブハウス PIA Julien

三宮駅北側近藤ビル9階

078-391-8081 月曜定休

<http://pia-julien.com>

ジャズクラブ Holly's

12/1(木) P大内玲子B坂口典右D中島要
 2(金) V林りえSax鈴木久美子B宗川信
 3(土) P辻佳孝D松田広士B木村知之
 8(木) V河野美紀P高橋玲奈B宮上啓二
 9(金) ゴスペルThe Earth Born
 10(土) Vあべやすご・河本江間子・加留部洋美
 P長井美恵子B森本良平B森本優子
 D中島要
 15(木) マリンバ山中ゆきこ他
 16(金) V佐川明子他
 17(土) V高貴みなP杉本亨B奈良原裕一
 22(木) V田中敬子P中山卓士B阪口典右
 23(金) V荒畑佐々木P赤松真理B香山正人
 Sax佐々木茂
 24(土) 尺八RobinEve G RonMason Tb
 DaveBoyle B小出恭正D松井道朗V林幸
 29(木) セッションナイト
 30(金) ゴスペルThe Earth Born

※12/31~1/4休み

■KOBE JAZZCLUB Holly's

三宮駅北徒歩7分、新神戸駅南徒歩7分

加納町 078-251-5147

<http://www.kobe-hollys.com>

ライブハウス チキンジョージ

12/1(木) AB's
 2(金) PERSONS
 3(土) 沼澤尚+勝井祐二
 4(日) 堂島孝平feat.佐野元春
 5(月) 難波弘之&センス・オブ・ワンダー
 6(火) KORENOS
 10(土) SHERBETS
 11(日) CINNAMON
 12(月) アナム&マキ/e-ha? ムッシュかまやつ
 15(木) スクーピードゥー/The miceteeth
 16(金) TENSAW
 17(土) 村田和人(vo&g)ほか
 18(日) 松ヶ下宏之
 19(月) 角松敏生
 21(水) THE BLUES POWER 永井隆ほか
 22(木) ·23(金) ·24(土) T-SQUARE
 26(月) ·27(火) 東京スカパラダイスオーケストラ
 28(水) BLACK BOTTOM BRASSBAND
 29(木) クニ河内とかれのともだち

■THE LIVE HOUSE CHICKEN GEORGE

生田神社西 078-392-7431

<http://www.chicken-george.co.jp>

ライブハウス メイデンヴォエッジ

12/2(金) jazz 5 guitar
 3(土) アコースティックライブ 古川麻友他
 4(日) スペシャル"カホン"ナイト
 jamzlp-painojaC-AZ他
 5(月) ザ・ダ・ブーツズ/江川ほーじん(b)
 水野正敏(b)
 東原力也(dr)
 小田文明(key)
 9(金) ロックポップスライブ
 CROSS+BREATH+兔キック・中西大介他
 10(土) 浅井智子Musical Selection Live
 16(金) pradox live
 19(月) タイガー大越「タイガー'sバグ」
 21(火) 岡本博文island
 23(金) 鶴田tosh&SONAR+NASEBOゴスペル
 28(水) 竹下咲-Mr Smithポップスライブ
 30(金) アカベラ大好き大集合飛び入りイベント

■Livehouse Maiden voyage

阪急六甲駅北側すぐ

078-805-0899

<http://www.koyo.net/maiden-voyage/>



タイガーダズ

川崎重工業の技術が 海洋博物館に展示

メリケンパークにある神戸海洋博物館に、新しい展示スペースがオープンする。川崎重工業が、自社製の船、航空機、新幹線などの鉄道車両などの技術を展示する。2006年春にオープンする予定。

展示物は、川崎重工業が手がけてきた、船舶や航空機、ヘリコプター、鉄道車両などの実物をはじめ、数々の製品等。造船の古くからの歴史や、産業用ロボットなどの最新技術に触れられる展示スペースが楽しみ。

■神戸海洋博物館
神戸市中央区波止場町2-2
☎ 078-3327-8983



神戸ワイン

新酒「みのり」

今年もおいしく登場

神戸ワイン
新酒「みのり」
今年もおいしく登場

り発売となつた。

今年は好天に恵まれ、過去最高の出来といわれた2004年産に勝るとも劣らない、すばらしいぶどうが収穫できたとか。摘みたての

ぶどうならではの、さわやかな味わいを楽しんでほしい。

口当たりの柔らかいメルローを100%使用した、ほどよい酸味が特徴の赤ワイン(1260円)、2005年産最高級品種リースリング等を使用した、清涼感あふれるフレッシュな味わいの白ワイン(1050円)、お好みでどうぞ。

■株式会社神戸ワイン
☎ 078-991-3916



堀尾貞治 横浜より凱旋！

横浜市で「横浜トリエンナーレ2005」が、今年も世界各国から旬の現代アートを集め、開幕した。12月18日まで開催される、この現代美術の祭典には、世界30カ国からアーティストが参加し

「アートサーカス(日常からの跳躍)」をテーマに、展示やパフォーマンスを行なつた。

神戸の現代アーティスト、堀尾貞治と、堀尾率いるアーティスト集団・現場芸術集団「空気」も、今回のトリエンナーレに参加し、話題となつた。これまで、ひたすら壊していくパフォーマンスや、短

い間の現実アーティスト、ティスト集団・現場芸術集団「空気」も、今回のトリエンナーレに参加し、話題となつた。これまで、ひたすら壊していくパフォーマンスや、短



時間でおびただしい数の作品を作り出す展覧会、兵庫運河でのパフォーマンスなど、いつも見るもの驚かせる堀尾が、横浜でのよう暴露されたわかったのか。神戸・南京町にあるギャラリー「蝶屋」では、12月15日(木)~20日(火)に「堀尾貞治×現場芸術集団「空気」横浜トリエンナーレ2005 in 神戸」展を開催する。横浜でのパフォーマンスの部や作品の部の展示、ビデオ放映などが予定されている。

■南京町ギャラリー「蝶屋」
神戸市中央区栄町通2-8-10
☎ 078-332-0628

GALLERY

元町画廊88周年 劉長輝 作陶展

陶芸という芸術

北野工房で活躍中の陶芸家劉長輝さんの作品展が、元町画廊88周年を記念しておこなわれる。

陶芸の美に挑戦し、その芸術性を追求する。大胆な釉薬づかいの躍動感のある作品は、まさにアートそのもの。また、神戸で活躍するアーティストたちが絵付けをした作品は、チャリティーにて。ユニークな器たちが並ぶ。

土と炎と、劉さんの創造性が生み出す芸術の世界を堪能したい。

10月15日(木)~20日(火)
10時30分~18時30分
(最終日 17時)

元町画廊 (元町商店街東入り口南)
☎ 078-331-2359



絵付作品



パリ風景や、神戸界隈を、独特的の風合いで描く画家、菅原洸人。本誌の好評連載エッセイ「コーヒーカップの耳」では墨一色の挿絵を披露している。

る「不死鳥」、神戸空港開港を記念した「飛行機」の2体の大型作品が登場する。他、

コンテスト作品の展示、子

どたちに大人気の氷のすべ

り台、迷路や、温かい飲み物

やお料理が楽しめるグルメブ

ースも用意される。10時～

21時（16日は17時まで）、入

場料大人500円・小学生

以下無料。六甲ガーデンテラ

スへは、六甲ケーブル駅から

山上循環バスで約10分。有

馬から六甲・有馬ロープウェ

ー「六甲山頂駅」下車徒步

約5分。六甲ケーブル往復

乗車券と山上バスフリー券

がついた、お得な割引入場券

あり。

現在、京都・美山の「美山かやぶき美術館」で12月25日（日）まで「菅原洗人の世界展」を開催中。山深い地にある素朴なかやぶき美術館で、菅原が過去30年にわたりヨーロッパで制作した油彩画や水彩画を展示。深い山々に囲まれた静かな土地で、菅原世界に浸ってほしい。

開館は10時～16時30分。入

館料500円。

■美山かやぶき美術館・郷土資料館
京都府北桑田郡美山町島
☎0771-7511777

幻想的な氷彫刻が 六甲山に

氷彫刻のプロの手による美しい芸術作品が並ぶ「第2回六甲山水の祭典」が、1月13日（金）～16日（月）六甲ガーデンテラス内特設会場で開かれる。今年2月に開催され、大好評をえた祭典の2回目だ。今回は、新潟県中越地震被災地である長岡市と連携。復興と連帶を表現した、長岡市の市章であ



原爆被害伝えるアニメ 神戸でも上映

戦後60周年の今年。戦争を体験した方々が高齢化していく中で、戦争や原子弹の被害を伝える生の声を、

次世代に伝えていくことが急がれる課題となっている。

アニメ映画「NAGASAKI」

1945 アンゼラスの鐘

で、自ら被爆しながら医療活動を続けた医師・秋月辰郎を主人公とした実話

をまじえた作品。監督・脚本

は「うしろの正面だあれ」な

ど平和への祈りを込めたア

ニメ作品を数多く手がけて

きた有原誠治。ナレーション

は名優・小林桂樹が担当し

ている。

風のささやくメロディーを
／私への愛の言葉と聞き違
えてしまう／桜貝の唄う海
からの便りを／私へのラブレ
ターだと取り違えてしまう
／ああ でも本当の愛を／
待ついても来てくれない
／私は楽器／私自身の愛を
奏でる楽器

「夢の組曲」より

「多少の困難でくわしくても、言葉にできない苦しみはない」と目を逸らさずなんとか詩らしきものを書き続けてきた」という福永祥子

の第5詩集。耳に残る言葉で、みずみずしい場面を切りとる。



核兵器のない平和な世界に向けて、次世代に伝えていくこの作品を、一人でも多くの人に見てほしい。

医師は、作品が完成して間もない今年10月、永眠した。モデルとなった秋月辰郎

モードとなつた秋月辰郎

医師は、作品が完成して間

もない今年10月、永眠した。

核兵器のない平和な世界に

見てほしい。



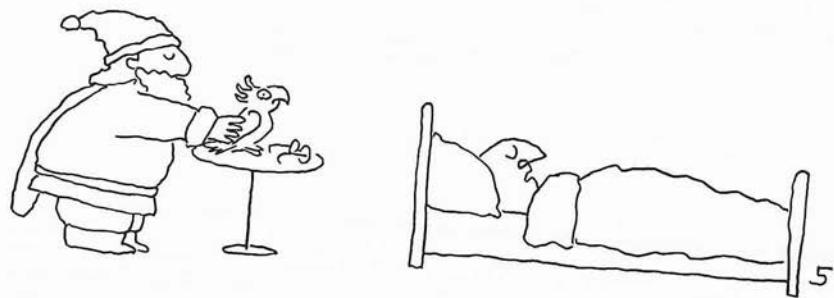
1,200円+税
I.D.C.出版

神戸の本棚 詩集 夢にかかる 福永祥子



貸せとおしゃるなら
ひとつん
お貸ししましょう





五つ目のリュックと震災ルツク

大谷 成章（フリーライター）

前画／とみさわかよの

あまりにもくたびれていて、みつともないと思われてしまつたのだろうか、「これ使えよ」と緑色のリュックをくれた人がいた。「あのとき以来、神戸ではいい年の男がリュックを背負つて電車に乗つてもおかしくはなくなつたなあ」と。

私があれ以来背負うようになつたリュックは、これで五つ目。中に入つているのはノートと筆箱。懐中電灯と小さなナイフ。折りたたみの傘。二コ。出かけていつた先々で手に入れ、コピーした資料でけつこう重たい。宿で部屋に案内してくれるおばさんが「金塊でも入つていてのですか」と驚くこともあつた。

大震災の直後は、会社に出かけても家に帰れるかどうかは分からないので、多くの人は洗面具や着替えを詰めたりリュックを背負つていた。避難所にいた人は、ご先祖の位牌から預金通帳など、全財産を詰め込んでいた。

私の最初のリュックは、押入れの奥から引き

出した帆布製のキスリングというやつで、山で寝袋代わりにも使える大きな袋だつた。疎開する人の荷物を運ぶのには役立つたが、いかにも大きすぎた。

再開した元町の高架下の店でカンタベリーのショルダーパックを見つけた。ラグビーのジャージとパンツを入れるものだろうが、鮮やかなオレンジ色が気に入った。

思うと不思議なのが、あのころのまちの人たちは作業着まがいの黒っぽい服装でも、マフラーーや手袋など、どこか一点、華やかで明るい色を身につけていた。

ビルの解体がいたるところでおこなわれていて歩いている人々が、一点の輝きをかかげ、まちの陰鬱に抗しているようだつた。

そのころの私は『月刊神戸つ子』で「浅井信雄対談」を担当していたが、浅井さんとデザイ

ナードー中村一夫さんとの対談で、こんな話が出ていた。

浅井 震災ルックといつても変化がでてきて、おしゃれを加味しているようだと思うのですが、地震の直後から見てどう思われますか。

中村 リュックがちょうどいまのファッショニにはまっているときだったので、助かつたですね。どの人でもどの家でも震災ルックが組めたラッキーさがありました。

浅井 リュックも、直後はものをたくさん入れるアウトドアのものが目につきましたが、最近は小さな、背中にせみがとまっているといった感じのものですね。そういうのを見ると、深刻さが取れた、ゆとりが出てきたというか、リュックでいいところを見せようという姿勢が見えてきたようですね。



詩画集「神戸、あの日より—1995・故郷」から掲載 「終着駅(東灘区)」

思い返せば、私たちは確かに「震災ルックが組めたラッキーさ」があった。ファッショニも流れだけではなく、家にはリュックがひとつかふたつはあり、店頭にさまざまなデザインのものが並んでいるこの国の経済力。

一方でスマトラ沖大津波の被災者も、パキスタン北部大地震の被災者も、映像を見る限り「被災ルック」なんものは身につけていない。

インド洋の海岸やヒマラヤの西麓で、多くの人が着の身着のままよつてているようすが伝えられている。

神戸からの海外の災害救援は、1995年5月から始まっている。初夏の衣替えの季節で、避難所から仮設住宅へ移転する人たちが、毛布や冬の衣類を、まだ雪が舞っているサハリン地震の被災地に送った。神戸の被災者が海外災害援助の先頭に立つたのだ。

そこから海外災害救援市民センタ (CODE) が誕生し、アフガニスタンでブドウ畑を回復させるなど、被災者の自立と自律を応援している。雪と氷に閉ざされるヒマラヤ西麓の被災者がこの冬を乗り切れるだろうか。現地からのCODEのメールを読むと、ぬくぬくとしてはおられない気持ちになる。

■ 大谷 成章（おおたに・しげあき）1939年但馬生まれ。元神戸新聞記者。震災当時は月刊誌「戸子編集者」の編集者。その後フリーライター。「阪神・淡路大震災10年」（共著、岩波新書）など。

「五線紙の街」～神戸を彩った人たち～

文・宮田 達夫 絵・中西 省伍

百枚を聴き二ヵ月かけて勉強してできたのが、組曲「月山」だった。



新潟生まれのアラマンこと新井満は『月山』という小説を書いた森敦に興味を持ち、見ず知らずなのに酒とギターを抱えて自宅に会いに行つた。ひとしきり話題が途絶えた時、アラマンは持参のギターで森敦の小説の一節にメロディーをつけ、弾き語りで歌い始めた。

それを聴いていた森敦が、素晴らしい、面白いからもう一度と言うものの、酒の席で即興で弾いたのでアラマンは覚えていない。ところが森敦が密かにテープに録音していた。その日はそれで終わり、後日突然アラマンのところに、レコード会社のディレクターが来て、森さんに言われレコードを作りたいといつてきただ。アラマンはシングル版だけかと思いつか、L.P.だというので、そこから作曲の本を買い、L.P.

どうしてこれだけの曲が作れたのかと聞くと、「耳をじーっと傾けているとメロディーが聴こえてこない? くるでしょ? 音楽が」「僕には聴こえない」

「そうかなあ? おかしいなあ、僕には聴こえてくるんだけど」

男はさりげなく言つた。新井満を略してアラマンと田宮は呼ぶことにした。

マルチメディア人間を自称するアラマンの人生はここから始まる。即座に勉強して曲を作り出すこのエネルギーはやはり新潟県人のパワーかもしれない。

すばらしいエネルギーを持つアラマンは探究心も強く、メルヘンを漂わす神戸の水が合つたように見受けられた。一度アラマンを「シユガーヒル」に案内すると気に入り、田宮と一緒に「シユガーヒル」で遊ぶ。田宮と一緒だ

彼は不思議といつもギターを持参していた。

酒は強いからギター持参でも苦にならない。カウンターで水割りを飲みながらギターを抱え、ポロンポロンとアラマンが弾き出した。来春出す新曲の「わたしのモニカちゃん」である。

「おかみさんの歌作ろうよ」

田宮がアラマンに言った。

「うん」アラマンは何のてらいもなくムードに乗ってメロディーを弾きだし歌い始めた。応接間のような雰囲気のバー・カウンターが良かったのかもしれない。

「おかみさん、紙、紙、メモしないと忘れちゃうよ」

田宮はふと森敷のときのことを思い出した。

「紙なんてないわよ」おかみさんはあわただしく探し回った。

「そこに紙あるよ、それでいいよ」

それはカレンダーの紙で、それを小さく破いて裏の白紙のところに、ギターのコードと歌詞を、弦をつま弾きながら書き込んでいった。「大したものだよ、おかみさんの曲があるバーナンて他にないよ」

「強引なんだから田宮さんは」と言つて笑い顔を見せた。カレンダーの紙を引き裂いて裏面の余白に書かれた歌のタイトルは、文字通り「余白」だった。

【余白】

1 あなたのくれた 手紙の余白

書いてなくとも わかります

さよならと ただ ひとことだけです

すんだものを 優しい人

さいごまで あなた

2 私のいえない 心の余白

書いたつもりで 破ります

愛して 愛してと 黒くなるほど

書いても 無駄ですか 悪い人

さいごまで あなた

76.11.30 for okami san

新井満は組曲「月山」に統いて、神戸の街とバー・ボンクラブをイメージして「アルファベット・アベニュ」というLPを作りあげた。そのジャケットには、バー・ボンクラブのメンバーが神戸の街角の家にいかにも住んでいる人かのようなストーリーが書かれている。「アルファベット・アベニュまで電車で11分」という見出しで。「MONICA」はB面にある。



■宮田達夫（みやたたつを）
一九三六年東京生まれ。毎日放送入社、大阪府警・大阪市・万国博などの記者クラブ担当。MBSナウ担当後、報道局兼事業局次長の二足のわらじで、放送記者として宝塚歌舞伎を取り材、イベントプロデューサーとしても活躍。元事業局長。バーボンクラブ会員。フリージャーナリスト。

何もない

出石 アカル

絵・菅原洸人

題字・六車明峰



わたしに初孫が生まれたことは前に書いた。名前は滉。娘夫婦がつけたものだが、偶然この

欄の絵を描いて下さっている洸人画伯に似た名前になつた。読みも「アキラ」ではなく「コウ」。

滉は大阪のマンションに住んでいますが、週に2、3度はうちへやつて来る。娘がうちの店で英会話教室を開いているのだ。アイドルタイムに店の一角を貸してやつている。その間、子守ができる。それがうれしい。

今回はその英会話教室にやつて来る、愉快な生徒さんの話。

元気な人である。生きのいいゴムまりのよう

な人。と言つても肥満体というわけではない。明るくて何事にも積極的な人なのだ。

「ジャズピアノを習っています。それからカントリーミュージックに合わせて踊るカントリーダンスも。心が浮き浮きして楽しいです。そして英会話。これは海外旅行のために」

いやなんとも行動的な人である。

中でも海外旅行が好きで、働いてお金をためては出掛けけるのだと。しかもいつも一人で。つい先日には、ベネズエラなど5カ国にまたがるギアナ高地に行つてきたのだと。

林由璃子さん、66歳。

10000メートル辺りに、テーブルマウンテ

ンという切り立った岩山が果てしなく続いているんです。そこにある世界一高い滝、エンジエルフォール（997メートル）には感動しました。六甲山と同じぐらいの高さです。セスナ機で奥地まで行つて、そこから川をカヌーで

2時間半も行かないと見られないんです」

ほかには、タクラマカン、ウズベキスタン、トルクメニスタン、チベットなどなど。

「わたし、あまり人の行かない所に行きたいんです。それも都会ではなくて、大自然が残っている所に。だから友達誘つてもだれも付き合つてくれないんです」

この人の旅は、思いつきではない。それぞれに目的意識があつてのことなのだ。

先のギアナ高地は、彼女が50年ほど昔、娘時代に読んだ『ロストワールド』（コナン・ドイル）という小説の舞台になつた所で、その時すでに、いつか行きたいくつたのだと。それが最近実現したのだ。

ほかに、世界の砂漠巡りもしているとおつしやる。

これまでに訪れたのは、先のタ克拉マカンのほかに、サハラ、ヨルダン、シリア、レバノンなど。

なんでもそんなどこに？と聞くと、
「わたし、何もないのが好きなんです。湿つぽいのが嫌いなんです」と明快である。

それを聞いてわたしは、ある歌を思い出した。
「何もない何もない 全く何もない」

歌うと彼女も知つていて途中からデュエットになつた。

昔、テレビでやつていたアニメ、「始め人間ギャートルズ」の主題歌「やつらの足音のパラード」である。わたしが大好きだった歌だ。

地球が生まれたころの様子を歌つたもので、「何もない大地に ただ風が吹いていた」と続く。ああ懐かしい。

さらに彼女は、「いつかエジプトにあるという地上最古の砂漠にも行つてみたい」と続く。そんなに海外ばかり、飛行機事故が心配では？

と言うと、

「わたし、飛行機事故で死にたいんです。しかも海へ落ちて見つからないのが望みなんです」

実にアッケラカンとした性格の人である。

ところでわたしは飛行機が嫌いである。前にも書いたが、乗つたことがないと言つて呆れられた。わたしが乗ると落ちる気がするのだ。そのことを言うと彼女は、

「えつ？ そうなんですか」と目を輝かす。「それなら是非わたしと一緒に行きましょう。一緒に飛行機に乗りましょ」とウキウキした様子。

「念願の飛行機事故で死ねるんだから」と。

わたしは、オイオイ！ である。飛行機で死にたくないから乗らないのに、飛行機で死にたいから一緒に乗ろうとは。